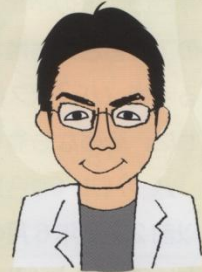


今号の内容

- 健康について
- もやもや病とバイパス手術について
- めまいについて
- 薬剤部通信 関節にグルコサミン？
- 部署紹介 総務部
- 学会報告&退任の挨拶

健康について

副院長・脳神経内科主任部長 野村栄一



「長寿・健康」は皆様の共通した願いであると思います。ところで「健康」とはいったいどのような状態でしょうか？世界保健機構は「身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態であり、単に病気あるいは虚弱でないことではない」というような定義をしています。これは、「体力を常に鍛え、正しい教育を受けて知力を高め、情緒も安定し、社会的に豊かな人間関係もあること」というように解釈できますので、「健康」であるためには、個人の努力のみならず、「国家・社会」の役割も大きい気がします。

病院の主な使命は「病気を予防すること・治療すること」ですので、厳密には「健康」の一部分を担っているに過ぎません。当院には「脳卒中」の方が多く受診されます。「脳卒中」の治療はかなり進歩してきましたが、まだまだなんらかの後遺症を残すことが多いのが現実です。不幸にして脳卒中により後遺症が残った場合は、身体的な面はいうまでもなく、精神的・社会的な面からも「健康」とはいえなくなります。医療従事者（医師・看護師・薬剤師・検査技師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・医療福祉相談員など）は、単に疾病の治療をするだけでなく、多職種がチームで力を合わせ、「患者さんの身体的・精神的・社会的な状態の回復により、健康を取り戻すこと」を目指していかなければならないということを肝に銘じる必要があります。

今のところ脳卒中に関しては、「予防」が最も「健康」につながるということになりそうです。当院で行っている脳ドックは、そのために大変役立つと思いますので、機会があれば是非ご利用ください。

もやもや病とバイパス手術について

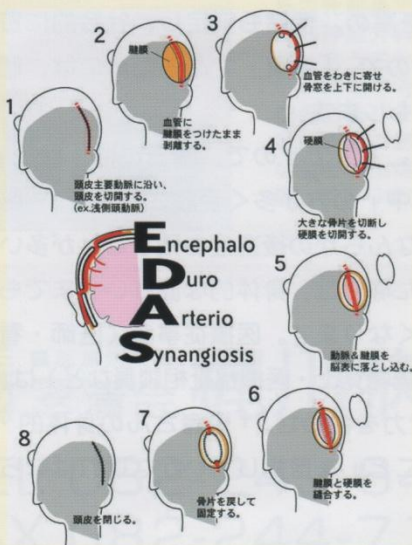
脳神経外科 東森俊樹

もやもや病は日本人を含むアジア人に多く認められる原因不明の内頸動脈の進行性の萎縮や閉塞をきたす病気です。典型的には小児期の過換気呼吸（笛を吹いたり、ラーメンをフーフーしたり）の際に脳血流が不足して、手足が動かなくなる、痙攣をおこすなどして見つかります。年月とともに新たな細かい血管が不足した血流を補うために発達して、検査で脳の血管を撮影すると湯気のように「もやもや」とした血管が認められることから病名がついて、世界中で「Moyamoya disease」（もやもや病）と呼ばれています。

この血流の不足する状態の治療には、頭の骨の外にある、耳の穴から1cm程度前、皮膚の下に皆さんも触れることのできる血管（浅側頭動脈）を頭の中の血管に結びつけてあげる手術（バイパス術）があります。この手術により、不足する血流を補うことができるとともに、脆弱なもやもや血管が破れて出血することを抑える効果も認められます。

バイパス（吻合）術には2種類あります。そのうち、直接血管を吻合する手術については以前2010年6月の記事に詳しいので、今回は間接吻合術について述べます。間接吻合術とは？皆さん疑問に思われると思いますが、血管は例えるならば、水のある所に向かう木の根のように、血液不足の場所に生えていきます。これを利用して、血管を生やしてあげる方法です。もちろん、接ぎ木のように血管を切って脳に刺しておけば生えたとまではいか

なくて、耳の前の血管（浅側頭動脈）を丁寧に分けて、頭の骨を切って脳の表面に直接載せて図のように固定することにより、球根の根のように血管が脳に伸びていくことが期待できるのです。これによって、もやもや病のように進行する血管の萎縮に対抗することができるのです。この手術については、血管を載せる方法にいろいろなやり方がありますが、1979年に東京医科歯科大学（TMDU）脳神経外科の松島善治先生が発案したEDAS（イーダスと呼んでいます）という手術が世界的に高い評価を得ています。当院でも直接吻合術とともに、患者さんの状態に合わせて行っています。



参考ホームページ

<http://www.justmystage.com/home/moyamoyamats/index.html>

めまいについて

脳神経内科 北村樹里

めまいと一言でいっても患者さんによくお話を聞くと「グルグル目が回る」、「ふわふわとふらつく」、「気が遠のくようになる」などその症状は様々で、またその原因も様々です。大きくは耳の病気、脳の病気、その他の病気にわけられます。耳の病気として良性発作性頭位変換めまい症(BPPV)、メニエール病、前庭神経炎、突発性難聴などがあります。BPPVは頭を動かすと回転性めまい(グルグルと回るめまい)が起こり、数秒から数十秒で消失します。メニエール病は激しい回転性めまいと吐き気が出現し、時に難聴や耳鳴りを伴います。頻度は様々ですが、症状を繰り返すことがあります。前庭神経炎も激しい回転性めまいと吐き気が出現します。難聴は伴いませんが、数日歩行が困難な状態が続きます。

突発性難聴は突然耳が聞こえにくくなります。治療が遅れると難聴が後遺症として残ってしまいます。脳の病気には脳出血・脳梗塞や脳腫瘍などがあります。小脳や脳幹部という場所の出血や梗塞の時には突然めまいが起こります。呂律困難や意識障害も伴う事が多く、頭痛なども伴う事が多いです。急激に悪化し、命を落とすこともあります。脳腫瘍では突然起こることは少なくふらつきが徐々に悪くなり、腫瘍の場所や大きさによっては難聴や耳鳴り、頭痛などを伴います。その他の病気としては起立性低血圧、不整脈、ストレスなどがあります。めまいは様々な病気で起こる症状で、その大半が良性のものです。脳卒中のように命をおとしたり後遺症を残すような重篤な病気が隠れている事があります。命を落とすような事がなくても早期治療が大事な場合もあるので、特にめまい以外に症状が伴う時は病院を受診し相談して下さい。



薬剤部通信

関節にグルコサミン?

薬剤部 松尾しのぶ

サプリメントとして有名なグルコサミンは自然界ではカニやエビの甲羅の主成分として存在しています。

● 役割

関節の動きをなめらかにする 関節の痛みを和らげる

● なぜ補給する必要があるの?

グルコサミンはヒトの体内においては軟骨や爪、靭帯などに存在しており、軟骨細胞を形成する成分として知られています。軟骨は、特に関節において骨と骨の間のクッションの役割を果たしており、曲げたり伸ばしたりする動作を円滑に行うために必要な要素となっていますが、加齢とともに生成量は減少してきます。

● 安全性

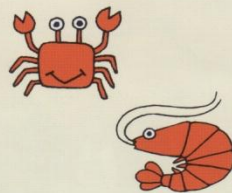
サプリメントに使用されているグルコサミンはエビやカニを含む節足動物の殻やヤマモなどの食品から抽出されています。1日摂取量の目安 1000mg ~ 1500mg を大幅に超えなければ安心して服用できます。

● アレルギー

カニやエビを原料として作られているサプリメントもあります。カニやエビにアレルギーのある方は、アレルギー症状が出る可能性があります。

● 注意!

糖尿病の方がサプリメントとしてグルコサミンを摂取することは、血糖値上昇の危険性あり注意が必要という報告もあります。また、グルコサミンはサプリメントとして販売されていますが、経口摂取の場合、変形性膝関節症の改善効果は不明です。



部署紹介

第9回

■総務部

総務部長 荒神稔幸

総務部は現在7名で、主な業務内容は会社運営と職員に関するものです。

決算や資金管理などの「経理業務」、給与計算や社会保険の諸手続き、職員採用などの「人事業務」、抄読会冊子作成や症例登録などの「秘書業務」、備品管理や施設整備、社内イベントなどの「庶務業務」と多岐にわたっています。



翠清会の
主な年間
行事

- | | |
|-----------------|----------------|
| 4月…入社式、お花見歓迎会 | 5月…春の翠清会ゴルフコンペ |
| 7月…ビールパーティー | 10月…職員旅行 |
| 11月…秋の翠清会ゴルフコンペ | 12月…忘年会 |

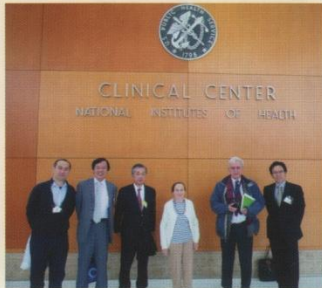
学会報告 & 退任の挨拶



9月1日より米国はワシントンDCにて開催されました米国脳神経外科コングレス学会に出席しました。学会会場はホワイトハウスからほど近い会議場であり、全米の脳神経外科従事者が集まるとともに、日本を含めた世界各国より発表がなされました。

スポーツ大国の米国らしく、アメリカンフットボール選手の脳損傷の頻度など、プロスポーツの研究発表もありました。プロ選手についてももちろん特別な場合もありますが、学校の体育授業での事故対処などもこうした発表に影響されて数年後に変わっていくと思われまふ。脳振盪については、もう少し慎重な経過観察が必要とされるかもしれません。

インターネット時代になり、見たことも聞いたこともない治療法はなくなったといえ、保険制度から生死観まで異なる国々の医療者が脳神経外科という一つの分野で話し合うことは、国内では得られない視点で考えさせられる貴重な機会でありました。秋の忙しい時期に皆様の御協力によりこのような会合に出席できましたことを感謝しております。



12月より東京医科歯科大学（TMDU）の血管内治療科に異動することとなりました。6月1日に赴任して6カ月と短い間でしたが皆様ありがとうございました。当院での治療経験を生かしてさらに精進するとともに、医学生への教育にも役立つように励みます。広島に参りまして日常生活はスーパーを探すのにも一苦労でしたが、仕事ではもちろん多少の違いはあるものの思いのほかスムーズに参加させていただけたのは、まさに皆様方に温かく見守っていただいたおかげです。本当に感謝しております。手術の吸引管さばき、お好み焼きのコテ使いなど、ようやくようになってきた矢先の異動であり、心苦しいばかりですが、再度一緒に仕事ができる機会を心待ちにしております。ありがとうございました。

脳神経外科 東森俊樹



医療法人 翠清会 梶川病院

TEL 082-249-6411

FAX 082-244-7190

〒730-0046 広島市中区昭和町 8-20

<http://www.suiseikai.jp>

